



## 新年度に寄せて

中原特別支援学校長 近藤 清孝

日頃から本校教育に対し温かいご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。本校校長として4月1日に赴任しました近藤と申します。昨年度は本校舎教頭として勤務させていただき、2年目を迎えたところです。

4月8日(木)には無事令和3年度入学式を挙行することができました。68名の新生を迎え、本年度の児童生徒数は270名となりました。充実した1年になるよう教職員一同頑張っていく所存です。どうぞよろしく願いいたします。

さて、今年度は本校の課題であった教育環境の改善についての対応が始まります。児童生徒数の増加により教室不足の状況にあり、且つ今後も児童生徒数の増加が見込まれることから、教室不足の解消に取り組むこととなります。具体的には、本校においてはプールの解体及びその跡地への仮校舎の設置、鳥栖田代分校においては仮校舎の設置を進める予定となっています。工期等については、確定次第お知らせしたいと思えます。

そのような状況下ではありますが、ご存知のとおり新型コロナウイルスの感染拡大が急加速しています。佐賀県においては、有田陶器市やガタリンピックなど佐賀県ならではの大きな行事の中止、県立学校においても部活動の県外交流の自粛など影響が広がっています。本校においても、体育祭や修学旅行をはじめとした学校行事に影響が及ぶ可能性があります。その際には、あらためてお知らせしたいと思えます。

感染防止については、児童生徒及び職員共に手洗い、消毒や換気の徹底を図っています。先日は感染対策に関する文書も発出させてもらったところです。いつだれが感染してもおかしくない状況であり、体調不良などありましたら気にされずにお申し出ください。

このように、なかなか先を見通せない状況ですが、学校の運営に当たっては、これまで以上に保護者のみなさまのご理解・ご協力が欠かせません。お願いばかりで申し訳ございませんが、何卒ご協力の程よろしく願いいたします。